



# 輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

## 卒業おめでとう！！進級おめでとう！！

### ～子どもたちの成長に拍手～



令和3年度が終わりました。早いものです。今年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年になりました。学校休業・学級閉鎖等はもちろん、各種行事の変更や中止、なかなか落ち着いた学校生活とは残念ながらなりません。それでも、最終的には学習進度に遅れなく今年度が終了できたことホッとしています。

コロナ禍の1年ではありましたが、1年は1年。時間の長さは何も変わりません。この1年間での学び、思い出を大事にしながら、次のステップに進んでほしいと思っています。

今年度も、昨年度に続き、私が意識して子どもたちに繰り返し伝えてきたことは2つ。

1つ目は「+α」です。前向きな姿勢と「もう少し」「少しずつ」の積み重ねを求めるものでした。日々自己ベストの更新を目指し、今の自分を少しずつ大きくしていこうというものでした。子どもたちは本当によく頑張りました。勉強・生活の見直し、友達への接し方をはじめ、VS活動など、随所に+αの考え方が生かされているように感じています。



2つ目は「命」でした。子どもたちには「死ぬな」というメッセージで送り続けました。奇しくも、世界ではロシアとウクライナの戦争という事態が起こり、多くの人が命を落としています。子どもの命も例外ではありません。子どもたちは、もちろん私たちも含めて生きることについては、ほとんど無意識で過ごしているところがあります。安全・安心が当たり前のものとして受け取っているところがあるように思えます。「命」について「生きること」については、世界にも目を向けながら時々思いをはせて欲しいと思います。子どもたちは今年度最後の日まで命をつないでくれました。当たり前のことかも知れませんが、3学期を終え、全員無事家庭にかえすことができることにホッとしています。どうぞ、春休み期間中もくれぐれも新型コロナウイルス感染症への感染はもとより、事件・事故等に十分注意してください。

子ども達は多くの制限の中、本当によく頑張りました。是非、ご家庭でも大いにほめてあげてください。子ども達を温かく見守るエネルギーこそが、子どもたちの次への活力とつながっていきます。

**1年間、大変お世話になりました。  
ありがとうございました。**



忙しさの中、忘れていましたが、学校のまわりに目をやると、春の息吹も感じられます。身の回りの春を探してみませんか。